

人権アラカルト

すべての人が、幸せになる権利を持っています。

人権について、身近なこと、小さなことから、始めませんか？

多様な性にYES



最近、テレビや新聞等で「LGBT」という言葉を目や耳にする機会が多くなりました。「レズビアン」「ゲイ」「バイセクシュアル」「トランスジェンダー」の頭文字を取った言葉で「性的マイノリティ」の総称として使われています。

【レズビアン】 女性として女性を好きな人	L	G	【ゲイ】 男性として男性を好きな人
【バイセクシュアル】 異性を好きになることもあれば、同性を好きになる事もある人	B	T	【トランスジェンダー】 出生時に割り当てられた性別とは異なる性別を生きる人

自分の周りには、性的マイノリティの人はいませんよと思われるかもしれませんが、「いない」のではなく、「見えていない」だけなのです。実は、社会の構成員の約8%が性的マイノリティだといわれています。下関市の人口約25万人のうち、8%で計算すると2万人と推計されます。

なぜ、見えないのか。それは、いじめや偏見を恐れて、本当の自分を周りに伝えることができない人が多く、その存在が可視化されていないからです。「周りの人たちから変な目で見られるのではないか」「ばれたら嫌われる」など、不安が募り悩んでうつ病になったり、自殺を考えたりする人もいます。自分というものを素直に表現できない苦悩を想像してみましょう。

5月17日は「多様な性にYESの日」。多様な性を認め合う気持ちを広めるため、国際的な記念日として1990年に設けられました。日本では2014年に記念日として認定されています。山口市では先日、「山口レインボープライド2023」というイベントも開催されました。パレードやステージでの啓発活動により、性的マイノリティの問題を可視化し、ALLY（アライ）を増やすことが目的です。

人間は生まれながらにして誰もが幸せに生きる権利を持っています。性的マイノリティの人も含め、誰もが生きやすい社会とはどんなものか、何をすればよいのか…。この社会には多様な性があることを理解し、性のあり方を尊重し合い、共に幸せに生きる社会を作っていきたいですね。

※ALLY（アライ）とは、「味方」「協力者」という意味の英語で、性的マイノリティの当事者を理解し、支援する人たちのことを指します。

【性の多様性に関するリーフレット】
知っておきたい『LGBT』等の基礎知識
山口県環境生活部男女共同参画課 2021年12月発行



読んでみてね。